

2019年度

シ ラ バ ス

桐生大学 医療保健学部

別科 助産専攻

講義コード	80010001
講義名	助産学概論
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	基礎領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R110
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒澤 やよい	指定なし
教員	松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

助産とはなにか、その本質と意義と社会的責務、助産の歴史、助産の対象等の理解を深めることを基盤に助産師活動や助産師教育の現状・研究などについて学ぶ。本科目は専門職としての助産師の業務、責務、倫理、役割への認識を深めることを目標とする。家族計画実施指導員講習の必修科目「総論」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師としての倫理観を深めるとともに専門職としての自律と責任を認識し助産師活動が実践できるための学修を目指すものとする。

到達目標

1. 助産の本質、意義について基本的理念、普遍的原理原則の視点で理解する。 2. 日本の助産師教育の実情を知り、今後の展望について考えることができる。 3. 専門職助産師のあり方について学問的、法的、倫理的に理解する。 4. 母子保健の歴史と現状と助産師の役割を関連付けて理解する。 5. 必要な助産師像について考える事ができ、将来展望を考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	助産の概念/助産師の定義	出産の変遷と主体の変化、助産の定義と助産の対象、助産師の定義	予習90分：助産学概論1章A、我が国の母子保健2章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	助産師の倫理	リプロダクティブヘルス・ライツの概念、倫理的規定、母体保護法の成立変遷、助産師資格の取得	予習90分：助産学概論1章B2章A4章を読む 復習90分：配布資料を見直す
	助産師	わが国の法の構造、助産に関わる法律、母子保	予習各90分：助産学概

第3回	の業務と責務 ①	健の関係法規（医療法、保助看法、医師法、母子保健法、児童福祉法、地域保健法、戸籍法、刑法、民法、労働法、就業規則）	論2章B助産管理2章を読む 復習各90分：配布資料を見直す
第4回	助産師の業務と責務 ②	産科医療補償制度の概要と事例、産科に関連した医療訴訟判例からの検討	予習各90分：助産学概論2章B助産管理2章を読む 復習各90分：配布資料を見直す
第5回	助産学を構成する理論と研究	実践を支える理論、対象を理解するための理論	予習90分：助産学概論3章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	助産の歴史と文化	助産の変遷、助産の文化論	予習90分：助産学概論6章を読む 復習90分：配布資料を読む
第7回	母子保健の動向	母子保健の歴史、動向と諸制度	予習90分：助産学概論5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	助産師教育/卒後教育	助産師教育の変遷と現状/卒後教育について	予習90分：助産学概論7章を読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

医学書院 助産学講座1 助産学概論 我部山キヨ子ら編、医学書院 助産学講座10 助産管理 我部山キヨ子ら編、我が国の母子保健（母子保健事業団）

参考書

医学書院 助産学講座10 助産管理 我部山キヨ子ら編、国民衛生の動向、母子保健ハンドブック（母子保健事業財団）母子保健の主なる統計（母子保健事業団）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験（80％）、レポート（20％）

課題等に対するフィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行ってゆきたい。

履修のポイント

様々な方向から関心を持ち、知識を広げることで助産師に求められている資質を高めることにつながります。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80020001
講義名	人間の性と生殖
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	基礎領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R111
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒澤 やよい	指定なし

授業の概要と教育目標

いのちを育む機能を持つ女性のからだの構造と機能、ライフサイクルを通しての体の変化、性的健康を脅かす問題、社会的な性をめぐる問題について学ぶ。なお本科目は、健やかな発達と豊かな母性の発展をサポートするための知識を養うことを目標とする。また、家族計画実施指導員講習の必修科目「受胎調節の基礎」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、女性のセクシュアリティに関する発達課題や健康問題について身体的、心理・社会的に理解を深め、対象の個別性を尊重できる姿勢を培うことを目指すものとする。

到達目標

1. 女性の性・生殖に関する解剖生理的側面について理解する。 2. 女性の健康を守るためのセルフケアと健康管理方法について学ぶ。 3. 女性を取り巻く性的健康を脅かす健康問題について学ぶ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	女性の体の仕組み①	生殖器の解剖と性差、分娩との関連性	予習90分：母子の基礎科学1章Aを読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	女性の体の仕組み②	性周期とホルモン・妊娠とホルモン	予習90分：母子の基礎科学1章BCを読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	ライフサイクル各期における疾患とケア	月経異常・婦人科腫瘍・乳腺疾患・加齢に伴う変化	予習90分：母子の基礎科学8章を読む 「病気が見えるvol.9」の該当部分を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	女性のフィジカルアセスメント	内診・膣鏡診・細胞診・性感染症検査 超音波検査・栄養価評価	予習90分：母子の基礎科学8・9章を読む 復習90分：配布資料を見直す

第5回	性科学	性科学の概念とセクシュアリティ 機能性障害・性同一性障害・妊娠と性行動・	予習90分：母子の基礎科学2章、母子の健康科学2章Aを読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	性感染症とヘルスプロモーション	性感染症の疫学、診断とケア、妊娠・出産・育児と性感染症	予習90分：母子の基礎科学6章7章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	性と生殖をめぐる問題①	不妊・DV(ドメスティックバイオレンス) 月経障害	予習90分：助産診断・技術学Ⅰ5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	性と生殖をめぐる問題②	セクシュアルヘルスとリスク回避行動 性教育・家族計画と避妊法	予習90分：助産診断・技術学Ⅰ6章を読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座2 基礎助産学 母子の基礎科学 医学書院、我部山キヨ子ら編、助産学講座3 基礎助産学 母子の健康科学 医学書院、我部山キヨ子ら編、助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ 医学書院
 メディックメディア「病気が見えるvol.9 第4版」(婦人科 乳腺外科) メジカルビュー社
 プリンシプル産科婦人科1 (婦人科)

参考書

看護教育で使用した母性看護テキスト矢解剖生理学のテキストなど

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験 (100%)

課題等に対する フィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行ってゆくので考えを発表してほしい。

履修のポイント

生殖器に関する解剖学・生理学および母性看護学等の復習とまとめが役立ちます。新聞を見て時事問題をとらえることで女性の社会化の現状に関心が深められることを期待します。

オフィス・アワー

9～18時の在室時 kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80030001
講義名	妊娠・分娩・産褥の生理
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	基礎領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R112
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 木村 優子	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠・分娩・産褥の生理的経過を理解し、各時期の母子に起こる生理的変化に対応するための基盤となる知識を復習を踏まえながら学ぶ。また正常経過を知る事により、正常から逸脱する可能性があること、逸脱していることが判断できるための知識を関連づけて学ぶ。なお本科目は、基礎看護教育での学びを基盤に、助産をするうえで必要な解剖、生理的な知識を深く理解し、正常経過をたどる妊産褥婦のケアに際して、根拠となる知識を活用して正常か異常かの見極めができることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery)、NBM(Narrative Based Midwifery)の視点から母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導ができる知識の基盤の習得を目指す。

到達目標

1. 胎児の発育と妊娠の成立について学ぶ。 2. 妊娠の経過に伴う母体の変化を学ぶ。 3. 分娩の機序と母子に及ぼす影響を学ぶ。 4. 産褥の退行性変化と進行性変化を学ぶ 5. 各期に起こりやすい逸脱と観察の必要性を学ぶ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	胎児の成長と発達、胎児付属物等について	初期発生と器官形成、胎児の発育と生理、胎児付属物の形態と機能、臨界期等	予習90分：助産学講座21章P56-63,助産学講座62章P47-68を読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	妊娠の成立と維持	妊娠の成立、妊娠成立後の母体の変化、ホルモン動態、	予習90分：助産学講座21章P42-47,助産学講座62章P42-46、P68-70を読む 復習90分：配布資料を見直す
		妊娠時期に応じた母体の生理的変	予習90分：助産学講座6

第3回	妊娠経過に応じた母体の変化	化と正常な妊娠経過（精神的な変化等も含む）について	2章P70-77 3章P80-96を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	分娩の生理 (1)	分娩の定義と種類、分娩の3要素	予習90分：助産学講座7 1章P4-29を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	分娩の生理 (2)	正常分娩の機転、分娩が母体・胎児に及ぼす影響	予習90分：プリンシプルP149-165を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	分娩期の心理社会的変化	産婦の心理と家族関係の特徴、産婦の健康生活	予習90分：助産学講座P34-44を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	産褥期の生理	産褥期の身体的変化、全身の変化	予習90分：助産学講座7 9章P258,10章P264-276を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	産褥期の生理	退行性変化、進行性変化、性周期の再開	予習90分：助産学講座2 1章P64-67を読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

医学書院 助産学講座2、7 基礎助産学（2）母子の基礎科学、助産診断・技術学Ⅱ、(2)分娩期・産褥期 我部山キヨ子ら編
メジカルビュー社 プリンシプル産科婦人科2
メディックメディア 病気がみえるvol.10産科

参考書

日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
この分野の国家試験を意識した内容での筆記試験とする。

課題等に対する フィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付け。教科書や配布プリントは熟読し理解しておくように。診断・技術学・助産学実習において質問し、把握状況を確認する。

履修のポイント

生殖器に関する解剖学・生理学および母性看護学等の復習とまとめが役立ちます。今後の学習の基礎となる科目のため、しっかり把握しておくことを期待します。

オフィス・アワー

9～18時の在室時
kimura-yu@kiryu-u.ac.jp,koga-yu@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80040001
講義名	ハイリスク妊娠・分娩・産褥
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	基礎領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R113
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 定方 久延	指定なし

授業の概要と教育目標

出産は生理的なものとはいえ、逸脱する状況も多くみられ、母子保健環境は各方面の努力、進歩によって改善されてきた。乳児死亡率、早期新生児死亡率も世界のトップクラスにあり、低率である。しかし母体死亡率については更に努力を重ねる必要がある。事例を通して求められる生理的アセスメントと治療・処置の必要性を考え対処を導くためのディスカッションを行う。なお本科目では、妊娠中に起こりうる異常について学び、母子ともに安全な出産に臨めるよう十分な知識の習得を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery)、NBM(Narrative Based Midwifery)の視点から母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導ができる知識の習得を目指す。。

到達目標

妊娠、分娩、産褥の異常及び主な合併症、疾患の原因、症状、診断、治療、予防対策について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	妊娠の異常 妊娠持続期間の異常	妊娠悪阻、子宮外妊娠、頸管妊娠、流産、早産、過期産、抗リン脂質抗体症候群、頸管無力症、絨毛膜羊膜炎:事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2を読む。 復習90分：配布資料を見直す
第2回	妊娠高血圧症	HDP、子癇、HELLP、常位胎盤早期剥離:事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2Ⅲ-1-FGむ。復

	候群		習90分：配布資料を見直す
第3回	胎児及び附属物の異常Ⅰ	前置胎盤、癒着胎盤、胞状奇胎、子宮内胎児死亡、子宮内胎児発育遅延、羊水過多、羊水過少：事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2Ⅲ - 1 - H~Kを読む。復習90分：配布資料を見直す
第4回	胎児及び附属物の異常Ⅱ	多胎妊娠、PROM、切迫早産、血液型不適合妊娠、急性虫垂炎、婦人科疾患合併症:事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2Ⅲ - 1を読む。復習90分：配布資料を見直す
第5回	合併症妊娠	呼吸器疾患、循環器疾患、血液疾患、膠原病、甲状腺疾患、精神疾患 糖代謝異常:事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2Ⅲ - 1.2を読む。復習90分：配布資料を見直す
第6回	母子感染症	風疹、サイトメガロ、伝染性症紅斑、水痘、ATL 単純ヘルペス、B型肝炎、C型肝炎、HIV、梅毒 GBS、トキソプラズマ、クラミジア:事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2Ⅲ - 2-Gを読む。復習90分：配布資料を見直す
第7回	分娩の異常	分娩進行に関係する異常：微弱陣痛、過強陣痛、CPD、胎位異常胎勢異常、進入の異常、肩甲難産、臍帯の異常、胎児機能不全、仰臥位低血圧症候群 分娩時裂傷（子宮破裂、膣会陰裂傷、血腫）子宮内反症、弛緩出血、羊水塞栓、産科DIC:事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2Ⅲ - 4を読む。復習90分：配布資料を見直す
第8回	産褥の異常	産褥熱、血栓症、産褥精神障害:事例提示しディスカッションを行う	予習90分：プリンシプル産婦人科学2Ⅲ - 5を読む。復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座1 助産診断・技術学Ⅱ、妊娠期、分娩期・産褥期、医学書院、メディックメディア「病気が見える」（産科編）、プリンシプル産婦人科学2 武谷雄二他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、筆記試験

課題等に対するフィードバックの方法

臨床現場に沿ったものを講義していきたい。重要な点は講義のなかで指摘するつもりである。

履修のポイント

関心を持ち、十分な予習をして臨むこと

オフィス・アワー

講義時間内の発言討議を活発に行ってほしい

講義コード	80050001	
講義名	新生児・乳幼児の生理と病態	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
区分	基礎領域	
必修/選択	必修	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R114	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 針谷 晃	指定なし

授業の概要と教育目標

新生児期における助産師の役割は、生まれてきた新生児の一人一人にふさわしい医療を提供し、家庭での生活がスムーズに始まるよう協力することにある。この授業では、胎児、新生児期の生理、新生児期の疾患に関する理解や一次医療機関における適切な対応、育児に関する基本的知識の修得を行うとともに、疾病を有する児の家族への対応や新生児医療における倫理について学ぶ。なお本科目は、対象の健康レベルに応じたアセスメントとケアを適切に行うための知識と技術の習得を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery)、NBM(Narrative Based Midwifery)の視点から、新生児・乳幼児の健康レベルに応じた的確な支援・指導ができる技術を習得することを目指す。

到達目標

1. 新生児の生理を理解する。
2. 新生児に起こりやすい疾病の病態と治療について理解する。
3. 遺伝的疾患とその家族への対応について学ぶ。
4. 新生児蘇生の技術を学ぶ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	新生児学概論 新生児診断学 新生児の管理	・新生児の定義、分類、新生児医療における用語 ・発育・発達とその評価 ・新生児の診察法、検査について ・各種モニター機器、主要な異常所見とその対応新生児の養護と管理、家族への援助、母子相互作用、医療事故 ・新生児医療と医の倫理	予習90分：新生児学入門 第1～8章を読む。復習90分：配布資料を見直す
	新生児の生理 新生児	・体温調節と保温、栄養の基礎と臨床、水－電解質バランス ・新生児蘇生・新生児の呼吸器疾患（呼	予習90分：新生児学入門

第2回	蘇生 新生児の呼吸器疾患	吸窮迫症候群、黄疸、消化器疾患、胎便吸引症候群、新生児一過性多呼吸、新生児慢性肺疾患、肺炎、気胸・気縦隔、横隔膜ヘルニア) について	第9～13章を読む。復習90分：配布資料を見直す
第3回	新生児の循環器疾患 黄疸、消化器疾患	・新生児期に発症する循環器疾患（チアノーゼ型先天性心疾患、新生児遷延性肺高血圧症）・黄疸をきたす疾患（特発性黄疸、溶血性疾患、遷延性黄疸、先天性胆道閉鎖症）、新生児期の消化器疾患	予習90分：新生児学入門 第14・15章を読む。復習90分：配布資料を見直す
第4回	血液疾患 免疫・感染症	・多血症、新生児メレナとビタミンK欠乏性出血症について・新生児期の重要な感染症（TORCH症候群、敗血症、ウイルス感染症、B型肝炎母子感染予防）	予習90分：新生児学入門 第16・17章を読む。復習90分：配布資料を見直す
第5回	神経疾患 内分泌 代謝系疾患	・新生児期の神経疾患（新生児仮死、低酸素性虚血性脳症、頭蓋内出血、髄膜炎）について・先天代謝異常スクリーニング、低血糖、先天性副腎皮質過形成、クレチン症等について・奇形と奇形症候群、遺伝カウンセリング	予習90分：新生児学入門 第12・18・19章を読む。復習90分：配布資料を見直す
第6回	先天異常と遺伝 主要疾患の病態と管理 災害と新生児医療	・先天異常・遺伝カウンセリング・未熟児網膜症・新生児壊死性腸炎・超低出生体重児・胎内発育遅延児・乳幼児突然死症候群・災害と新生児医療	予習90分：新生児学入門第20章を読む。復習90分：配布資料を見直す
第7回	新生児蘇生法 実習	・事前説明・新生児蘇生法講習会プログラムに基づくプレテスト・講義・演習・終了時試験・事後説明（認定申請の方法、認定後の研修・更新）	予習90分：新生児蘇生法テキストを読む 復習90分：新生児蘇生法テキストを見直す
第8回	新生児蘇生法 実習	・事前説明・新生児蘇生法講習会プログラムに基づくプレテスト・講義・演習・終了時試験・事後説明（認定申請の方法、認定後の研修・更新）	予習90分：新生児蘇生法テキストを読む 復習90分：新生児蘇生法テキストを見直す

教科書

『新生児学入門 第5版』仁志田博司 編集、助産診断・技術学Ⅱ[3]「新生児期・乳幼児期」医学書院「日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく 新生児蘇生法テキスト 第3版」監修 細野茂春
メディカルビュー社

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 レポート課題

課題等に対する フィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付ける。蘇生法の演習では、体験型のロールプレイを実施する。

履修のポイント

NICU実習や分娩時の新生児ケアと観察の実践をイメージ出来るよう取り組んでください。
--

オフィス・アワー

授業開始前・中・後での質問や問題提議を随時受け付けます。

講義コード	80060001
講義名	母子の栄養科学
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	基礎領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R115
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 増野 弥生	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠期、授乳期、新生児期、幼児期、学童期、思春期の各ライフステージについて生理的・精神的特徴を踏まえ、栄養状態の変化、栄養アセスメントの方法、栄養ケアの在り方、栄養アセスメントに必要な食事摂取基準(2015年版)について学ぶ。特に妊娠期・授乳期における母子の栄養管理について基礎知識を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「分娩介助や妊産婦対象の保健指導、育児指導、また思春期や更年期の女性に対するサポートなど、母子保健全般にわたるケア能力を身につける」に基づき、助産師として、妊婦・授乳婦に対して食生活や栄養などの指導をする場面に必要となる母子栄養の基礎知識を学び、母性栄養における栄養の重要性の理解を深め、適切な栄養管理の方法を身につける。

到達目標

1. 母子栄養のアセスメントを踏まえて、適切な栄養のあり方について理解する。
2. 妊娠時、授乳時の具体的な栄養管理方法、栄養相談技術を身につける。
3. 日本人の食事摂取基準(2015年版)を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	母子の栄養 1	栄養学の基礎知識 1. 栄養の基礎的概念と栄養素の種類・特徴 2. 日本人の食事摂取基準の基礎知識	予習：5大栄養素の種類・働きについて調べてくる。テキスト：第1章、第2章90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分
第2回	母子の栄養 2	妊婦・授乳婦の栄養アセスメント 【アクティブ・ラーニングの内容】 ケーススタディのプリントを用い、実際に栄養管理を行う。 グループワーク	予習：テキスト：第2章 栄養状態の評価を読んでくる 90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分
		妊婦の病態と栄養	予習：テキスト：第2章 妊婦の

第3回	母子の栄養3	1.妊娠の栄養と食生活 2.母体の栄養と胎児の発育 3.授乳婦の病態と栄養	栄養 Bを読んでくる 90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分
第4回	母子の栄養4	妊産婦の栄養 1.付加される栄養素 【アクティブ・ラーニングの内容】 ケーススタディのプリントを用い、実際に栄養管理を行う。 グループワーク	予習：テキスト：第2章 B,Cを読んでくる 90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分
第5回	母子の栄養5	妊産婦の食事摂取基準(2015年版) (1) 妊産婦の食事バランスガイド 【アクティブ・ラーニングの内容】 各自が妊婦・授乳婦の献立を作成し、食事バランスガイドに照らし合わせたものを発表する。プレゼンテーション	予習：テキスト：第2章 B,Cを読んでくる 90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分
第6回	母子の栄養6	妊産婦の食事摂取基準(2015年版) (2) 妊産婦の栄養指導例 【アクティブ・ラーニングの内容】 食事指導に有効な媒体の作成(ディスカッション、グループワーク)	予習：テキスト：第2章 栄養状態の評価を読んでくる 90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分
第7回	母子の栄養7	乳幼児期の発育・発達と食生活 1.栄養・食生活の特徴 2.乳汁栄養 3.口腔と摂食機能の発達・離乳期の栄養 4.乳幼児の病態と栄養	予習：テキスト：第2章 D、第5章を読んでくる 90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分
第8回	母子の栄養8	2.乳幼児の栄養 【アクティブ・ラーニングの内容】 各自が乳幼児の献立を作成・発表・討論を行う(プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク)	予習：テキスト：第2章 D 乳幼児の栄養、幼児期の食と栄養を読んでくる 90分 復習：ノートに配布資料を見直す。90分

教科書

助産学講座③ 基礎助産学 母子の健康科学 医学書院 我部山キヨ子ら編

参考書

日本人の食事摂取基準 (2015年版)

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上 前期定期試験 (定期試験70% 提出物30% を総合して評価する。)

課題等に対する フィードバックの方法

課題は添削後、返却する。

履修のポイント

必ず、事前学習・事後学習を行うこと。
事前学習として、シラバスを参考に、テキストの章を読んでくること。
事後学習として、課題を行い、ノートをまとめること。
普段から自分の食生活、食品表示、情報などにも関心を持つこと。

オフィス・アワー

月・火・水・木・金の昼休み、及び講義前後に11号館研究室18にて対応する。

講義コード	80070001	
講義名	母性父性の心理・社会学	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
区分	基礎領域	
必修/選択	必修	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R116	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

女性のライフサイクルにおける大きな節目となる妊娠前後の女性が抱える問題に関して、心理学的・社会的側面から検討する。特に、母子関係のあり方を中心として、女性のメンタルヘルス、父親の役割と育児への関わり方、子どもの虐待、ドメスティックバイオレンス、カップル関係、育児支援に関する問題を取り上げると共に、近代以降の家族の歴史についても扱う。また、本科目は、母性・父性に関する知識を学び、パートナーや子供・家族についての理解を深め、助産師としての支援に応用できる能力の習得を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師としての倫理観と社会性を深め、対象の多様な価値観を理解し個別性を尊重できる能力の習得を目指す。

到達目標

1. 母性・父性に関する理解を深める。 2. 母子関係の形成に生じる心理学的理論や問題の背景に対する知識を学ぶ。 3. 母性父性の心理社会的な問題の実態を認識し、問題解決に向けた支援のあり方を考える力を培う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	イントロダクション	母性・父性の研究、女性のライフサイクル	予習90分：母子の心理・社会学1章ABを読む。復習90分：配布資料を見直す
第2回	女性のメンタルヘルス	妊娠と出産をめぐるメンタルヘルス	予習90分：母子の心理・社会学1章BCを読む。復習90分：配布資料を見直す
第3回	親子関係の問題Ⅰ	母子関係の理論	予習90分：母子の心理・社会学2章Aを読む。復習90分：配布資料を見直す
第4回	親子関係	母子関係における問題と父親	予習90分：母子の心理・社会学2章BCを読む。復習90分：配布資料

	の問題Ⅱ	の役割	を見直す
第5回	家族の問題	子どもの虐待、カップル関係	予習90分：母子の心理・社会学1章C,3章Dを読む。復習90分：配布資料を見直す
第6回	家族と社会	近代以後の家族の歴史	予習90分：母子の心理・社会学3章BCを読む。復習90分：配布資料を見直す
第7回	親子関係の援助	問題の発見と子育て支援	予習90分：母子の心理・社会学5章を読む。復習90分：配布資料を見直す
第8回	まとめ	課題と展望	予習90分：これまでの資料を読む。復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座 4 基礎助産学〔4〕母子の心理・社会学 医学書院

参考書

授業時に随時紹介

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験、リアクションペーパーで総合評価を行う。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内での質問やリアクションペーパーによる授業内容の質問や疑問点に応じる。また、グループで討議を行うことで、学習への意識を高め、各学生の理解を深める機会とする。

履修のポイント

授業内容に関して意欲的に学習し、理解を深める。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

講義コード	80080001	
講義名	助産診断・技術学概論	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
区分	実践領域	
必修/選択	必修	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R210	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

助産診断・技術学は助産学を構成する重要な柱の一つである。ここでは助産診断学、技術学に大別し、助産師の専門職性と合わせて概説する。助産診断学ではウェルネスという視点で対象の強みに着目し、正常経過かどうか診断する助産過程や、逸脱しそうな場合は助産師のケア、指導で逸脱せずに経過できるかどうかを見極める一連の思考過程、そして、技術学では助産師が法的に独自で判断して行う技術について理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

"別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、妊娠、分娩、産褥の各時期における助産過程や一連の助産過程に基づく助産技術を理解し実践できる専門職としての基盤となる学修を行うことを目指す。

到達目標

1. 助産師の専門職性と診断との関係を理解する。 2. 助産診断が助産師の職能特有のものであること、看護診断、医学診断との境界域や共同問題について理解する。 3. 一連の助産過程（診断過程、実践過程）の展開の方法がわかる。 4. マタニティサイクルの助産診断ではウェルネス型診断を中心に理解する。 5. 正常域との境界線が明確に診断できることの重要性を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	助産診断・技術学とは	助産診断とは何か、助産師のケア実践の範囲について	予習90分：助産学講座6 1章P1-7を読む 復習90分：配布資料を見直す
	助産診断の	助産診断類型について 診断名ラベルの意味について	予習90分：助産学講座6 1章P8-

第2回	概要（その1）	て（ウェルネスに基づくマタニティサイクルの助産診断）	21を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	助産診断の概要（その2）	ウェルネスとイルネスの相違、ウェルネス型助産診断と実在型、リスク型、可能性型助産診断の表現と考え方の相違について	予習90分：助産学講座6 1章P21-30を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	助産診断類型と診断指標	助産診断類型と診断指標の考え方と活用方法について	予習90分：事前に資料配布 復習90分：配布資料を見直す
第5回	助産診断過程について	一連の助産診断過程についてグループワークを通して実例を検証する	予習90分：事前に資料配布 復習90分：配布資料を見直す
第6回	助産診断過程について	ケア計画立案と実践、評価について実例を検証する	予習90分：事前に資料配布 復習90分：配布資料を見直す
第7回	助産技術と実践過程について	助産技術と実践過程の統合のしかたについて（1）	予習90分：助産学講座6 1章P30-36を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	助産技術と実践過程について	助産技術と実践過程の統合のしかたについて（2）	復習90分：配布資料を見直す

教科書

医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ、(1)妊娠期 我部山キヨ子ら編

参考書

医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ、(1)分娩期 我部山キヨ子ら編

成績評価の方法・基準

単位認定60%以上
筆記試験（100%）、

課題等に対する フィードバックの方法

教科書や配布資料を熟読し予習復習をしっかりと行ってほしい。

履修のポイント

予習・復習の積み重ねが知識を身につける力になり、試験対策にもつながります。授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、koga-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80090001
講義名	助産診断学
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	実践領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R211
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 古賀 裕子	指定なし
教員	木村 優子	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	生方 和美	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠期、分娩期、産褥期・新生児期の助産過程について教授する。ここでは事例について情報を統合して診断するまでの思考過程を概説し、まずはグループで助産過程を展開しさらに個人でも助産過程が展開できるように教授する。正常からの逸脱が予測される場合はケアや指導で解決できるように計画し、逸脱した場合は医師の共同問題として看護計画を立案する。一連の助産過程を学び助産学実習において助産を実践するための思考能力を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、講義では事例を通して主体的に助産診断、ケアプランが立案でき、ケアプランを実施した場合の実例をもとに、評価、考察を行い、プランの修正ができる。さらにハイリスクの場合は他の講義で学んだハイリスクの観察のための知識を活かし看護者がすべきケアを考えることができる学修を目指す。

到達目標

1. 妊娠、分娩、産褥・新生児期の一連の助産過程を展開できる。 2. 正常を逸脱する可能性がある場合、必要な保健指導を企画・展開できる。 3. 正常を逸脱した場合でも医師との共同問題としての看護過程を展開することができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	妊娠期の助産過程の特徴と手順 (黒澤)	妊娠各期の分類と特徴、妊娠期の助産過程の考え方、妊娠期の助産診断 情報収集方法とアセスメント	"予習90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期第5章Bを読む 復習90分：配布資料を見直す"

第2回	妊娠経過に即した生理的情報収集とアセスメント(黒澤)	健康診査の目的、診査項目、求められる知識と根拠 今後の授業の進め方：事例紹介、分析フォーマット配布 各自USB持参すること。課題説明、課題提出期限の提示	"予習90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期第5章Bを読む 復習90分：課題作成"
第3回	妊娠期の情報整理とアセスメント・診断(黒澤)	予め提出した課題を返却するので、ペア同士情報の整理内容を共有し、ディスカッションしながら不足部分を追加修正する。	予習・復習各90分：個人での課題取り組み、ペアでの課題取り組み
第4回	妊娠期の情報整理とアセスメント・診断(黒澤)	ペアワーク：情報・アセスメント・助産計画（診断・目標・ケアプラン）	予習・復習各90分：個人での課題取り組み、ペアでの課題取り組み
第5回	妊娠期の助産過程（黒澤）	各グループの発表とディスカッション・コメント：PP作成、ディスカッション後修正したものをデータファイルで提出。授業終了時に配布するのでUSB持参すること。助産計画は、妊娠期指導技術のロールプレイ実施と評価を各自記入し紙媒体で提出する。	"予習90分：ペアワーク。PP作成と練習 復習90分：記録修正"
第6回	妊娠期の助産過程（黒澤）	各グループの発表とディスカッション・コメント：PP作成、ディスカッション後修正したものをデータファイルで提出。授業終了時に配布するのでUSB持参すること。助産計画は、妊娠期指導技術のロールプレイ実施と評価を各自記入し紙媒体で提出する。	"予習90分：ペアワーク。PP作成と練習 復習90分：記録修正"
第7回	妊娠期の助産過程（黒澤）	各グループの発表とディスカッション・コメント：PP作成、ディスカッション後修正したものをデータファイルで提出。授業終了時に配布するのでUSB持参すること。助産計画は、妊娠期指導技術のロールプレイ実施と評価を各自記入し紙媒体で提出する。	"予習90分：ペアワーク。PP作成と練習 復習90分：記録修正"
第8回	妊娠期の助産過程（黒澤）	各グループの発表とディスカッション・コメント：PP作成、ディスカッション後修正したものをデータファイルで提出。授業終了時に配布するのでUSB持参すること。助産計画は、妊娠期指導技術のロールプレイ実施と評価を各自記入し紙媒体で提出する。	"予習90分：ペアワーク。PP作成と練習 復習90分：記録修正"
第9回	妊娠期のマイナートラブル(黒澤)	妊娠期に起こりやすいマイナートラブルの予防と対処について	"予習90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期6章A15を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第10回	分娩直前期の助産過程(黒澤)	妊娠34週以降の助産計画（バースプラン・産道の変化・腹部の変化・分娩開始の目安と入院・異常の判断と対処・出産育児への心構え）	"予習90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期6章Bを読む 復習90分：配布資料を見直す"
	分娩期の助	正常分娩の情報収集とアセスメント、分娩の	予習90分：助産診断

第11回	産診断について（古賀）	予測/診断とケアの一連の過程について（初産婦の模擬事例） 分娩時の胎児心拍モニター判読について	類型と診断指標について復習する 復習90分：配布資料を見直す
第12回	分娩期の助産診断について（古賀）	正常分娩の情報収集とアセスメント、分娩の予測/診断とケアの一連の過程について（初産婦の模擬事例） 分娩時の胎児心拍モニター判読について	予習90分：助産診断類型と診断指標について復習する 復習90分：配布資料を見直す
第13回	事例展開（前期破水）（古賀）	前期破水の事例展開/診断とケアについての討議	予習90分：プリンシプルP567-571前期破水を読む 復習90分：配布資料を見直す
第14回	事例展開（前期破水）（古賀）	前期破水の事例展開/診断とケアについての討議	予習90分：プリンシプルP567-571前期破水を読む 復習90分：配布資料を見直す
第15回	事例展開（微弱陣痛/促進）（古賀）	微弱陣痛の事例展開/診断とケアについての討議	予習90分：プリンシプルP514-515微弱陣痛を読む 復習90分：配布資料を見直す
第16回	事例展開（微弱陣痛/促進）（古賀）	微弱陣痛の事例展開/診断とケアについての討議	予習90分：プリンシプルP514-515微弱陣痛を読む 復習90分：配布資料を見直す
第17回	事例展開（経過が早い初産婦/巨大児/予定日超過）（古賀）	経過が早い初産婦の事例展開/討議	予習90分：プリンシプルP502.P375を読む 復習90分：配布資料を見直す
第18回	事例展開（経過が早い初産婦/巨大児/予定日超過）（古賀）	経過が早い初産婦の事例展開/討議	予習90分：プリンシプルP502.P375を読む 復習90分：配布資料を見直す
第19回	産科手術及び産科的医療処置（古賀）	吸引分娩/鉗子分娩/帝王切開/硬膜外無痛分娩、	予習90分助産学講座7P212-243を読む 復習90分：配布資料を見直す
第20回	正常逸脱の事例の助産診断（医師との共同問題と看護ケア）（古賀）	分娩機転などの異常（回旋異常、不正軸進入、胎位異常/骨盤位）	予習90分助産学講座7/プリンシプルを読む 復習90分：配布資料を見直す

第21回	正常逸脱の事例の助産診断（医師との共同問題と看護ケア）（古賀）	分娩経過中の逸脱 出血因子（弛緩出血、子宮手術後 癒着胎盤）	予習90分助産学講座7/プリンシプルを読む 復習90分：配布資料を見直す
第22回	正常逸脱の事例の助産診断（医師との共同問題と看護ケア）（古賀）	母体合併症（妊娠高血圧症、妊娠糖尿病） 異常分娩（多胎、FGR）等の診断とケア	予習90分助産学講座7/プリンシプルを読む 復習90分：配布資料を見直す
第23回	"産褥期の助産診断（木村）"	正常産婦の助産診断（診断名と関連する情報）	"予習90分：助産学講座7 第11章P278-299 第15章P370-374を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第24回	"産褥期の助産診断（木村）"	正常産婦の助産診断（診断名と関連する情報）	"予習90分：助産学講座7 第11章P278-299 第15章P370-374を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第25回	"新生児期の助産診断（木村）"	新生児期の助産診断（診断名と関連する情報）	"予習90分：助産学講座8 P27-33 プリンシプル産科婦人科学2 P694-699を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第26回	"母子を統合した助産診断（木村）"	"助産過程の展開 GW （正常産褥期 分娩後2時間～退院まで） （正常新生児期 出生直後～退院まで）"	"予習90分：助産学講座2、7、8、今までの配布資料等を見直しながら紙上事例の展開をしてグループワークに臨む 復習90分：展開した情報やアセスメントの修正"
第27回	"母子を統合した助産診断	"助産過程の展開 GW （正常産褥期 分娩後2時間～退院まで）	"予習90分：助産学講座2、7、8、今までの配布資料等を見直しながら紙上事例の展開をしてグルー

	(木村) "	(正常新生児期 出生直後～退院まで) "	プワークに臨む 復習90分：展開した 情報やアセスメント の修正"
第28回	"母子を統合 した助産診 断 (木村) "	"助産過程の展開 GW (正常産褥期 分娩後2時間～退院まで) (正常新生児期 出生直後～退院まで) "	"予習90分：助産学 講座2、7、8、今ま での配布資料等を見 直しながら紙上事例 の展開をしてグルー プワークに臨む 復習90分：展開した 情報やアセスメント の修正"
第29回	NICUにおけ る新生のケ ア (1) ～ (2) (生 方)	正常を逸脱した新生児のケアの実際を学ぶ	"予習90分：助産学 講座8 P123～ P 167を読む 復 習90分：配布資料を 見直す "
第30回	NICUにおけ る新生のケ ア (1) ～ (2) (生 方)	正常を逸脱した新生児のケアの実際を学ぶ	"予習90分：助産学 講座8 P123～ P 167を読む 復 習90分：配布資料を 見直す "

教科書

医学書院 助産学講座2,6,7,8 母子の基礎科学 助産診断・技術学Ⅱ (妊娠期、分娩期、産褥期、新生児・乳幼児) 我部山キヨ子ら編、新生児学入門 仁志田博司、メジカルビュー社 プリンシプル産婦人科学 武谷雄二他、図解CTGテキスト 中井章人

参考書

ウェルネスからみた母性看護過程 医学書院、今日の助産、北川真理子、南江堂 日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト 産褥期のケア、新生児期・乳幼児期のケア 医学書院 マタニティ診断ガイドブック

成績評価の方法・基準

単位認定60%以上
筆記試験 (100%)、

課題等に対する フィードバックの方法

助産過程を展開するうえで必要な根拠を理解するため、教科書や参考書・配布資料等を熟読してほしい。

履修のポイント

助産学実習で必須となる思考過程であり、ケアに必要な判断力を養う科目である。実際の妊産婦の事例を用いてグループワークから次第に個人で助産過程を展開できるようにし、助産過程のポイントが分かるように講義を展開する。展開したものについて一定の水準まで到達できない場合は個人指導する場合がある。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、koga-yu@kiryu-u.ac.jp kimura-yu@kiryu-u.ac.jp kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80100001
講義名	助産技術学
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	実践領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R212
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 古賀 裕子	指定なし
教員	木村 優子	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	篠崎 博光	指定なし

授業の概要と教育目標

周産期の助産技術助産診断とケアに必要な技術をEMB、NBMの視点から演習を通して習得する。助産技術学は診断学と切り離すことができない分野であり、常に助産診断と並行した技術が用いられることを教授する。緊急時、異常時においては、ハイリスク妊娠分娩産褥で学んだ知識を観察の視点とし看護者がとるべき行動についても教授する。なお本科目は、周産期における助産技術をエビデンスを理解したうえで実践できるようになることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、妊娠期、分娩、産褥期、新生児期の助産技術の基本を学び、EBMを理解し実践できる学修を目指す。

到達目標

1. 妊娠期では妊婦の健康診査に必要な助産技術、分娩期では産婦の分娩介助を中心とした技術、産褥期、新生児期では産後の母体、新生児観察のために必要な助産技術を実践することができる
2. それぞれのEBMを理解し、助産診断に基づいて実践することができる
3. 妊娠期の超音波断層撮影について理解でき基礎的な操作が実践できる
4. 異常、緊急時における技術を学び理解することができる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	妊婦の健康診査と観察・技	問診と妊婦健診の技術（骨盤計測・腹囲・子宮底測定、胎児触診法、血圧・体重・検尿・心音測定、モニター装着と判読、内診介助）：デモンストラクションを行いながら講義する。第4回：演	"予習各90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期5章Bを読む 復習各90分：配布資料を見直す

	術（黒澤）	習オリエンテーションを行う	"
第2回	妊婦の健康診査と観察・技術（黒澤）	問診と妊婦健診の技術（骨盤計測・腹囲・子宮底測定、胎児触診法、血圧・体重・検尿・心音測定、モニター装着と判読、内診介助）：デモンストラーションを行いながら講義する。第4回：演習オリエンテーションを行う	"予習各90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期5章Bを読む 復習各90分：配布資料を見直す"
第3回	妊婦の健康診査と観察・技術（黒澤）	問診と妊婦健診の技術（骨盤計測・腹囲・子宮底測定、胎児触診法、血圧・体重・検尿・心音測定、モニター装着と判読、内診介助）：デモンストラーションを行いながら講義する。第4回：演習オリエンテーションを行う	"予習各90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期5章Bを読む 復習各90分：配布資料を見直す"
第4回	妊婦の健康診査と観察・技術（黒澤）	問診と妊婦健診の技術（骨盤計測・腹囲・子宮底測定、胎児触診法、血圧・体重・検尿・心音測定、モニター装着と判読、内診介助）：デモンストラーションを行いながら講義する。第4回：演習オリエンテーションを行う	"予習各90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期5章Bを読む 復習各90分：配布資料を見直す"
第5回	妊娠期の技術演習（黒澤）	グループ演習：オリエンテーション後、教員の指導の下で、全員が体験する。授業資料を持参。実施後課題提出する。	"予習各90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期5章Bを読む 復習各90分：配布資料を見直す"
第6回	妊娠期の超音波診断技術(篠崎)	妊娠期の超音波診断の実際について	"予習90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期8章4、基礎助産学2母子の基礎科学9章B3を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第7回	妊娠期の超音波診断技術(篠崎)	妊娠期の超音波診断の実際について	"予習90分：助産診断・技術学Ⅱ妊娠期8章4、基礎助産学2母子の基礎科学9章B3を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第8回	分娩期の診察技術（古賀）	産婦の観察について；外診、内診技法（講義）	予習90分：助産学講座7 P67-70を読む 復習90分：配布資料を見直す。＊白衣持参
第9回	内診技術（古賀）	内診の技術（演習）・グループごとに実施	予習90分：助産学講座7 P67-70を読む 復習90分：配布資料を見直す。＊白衣持参

第10回	分娩介助技術 ①（古賀）	一連の分娩経過と技術（講義・DVD）/間接介助について	予習90分：事前資料配布 DVDを観ておく 復習90分放課後に分娩介助練習
第11回	分娩介助技術 ②（古賀）	分娩介助法（演習用DVD）、分娩環境整備と物品	予習90分：事前資料配布 DVDを観ておく 復習90分放課後に分娩介助練習
第12回	分娩介助の実際① （古賀）	分娩介助の実際 解説・demonstration、グループごとに実施	予習90分：事前資料配布 DVDを観ておく 復習90分放課後に分娩介助練習
第13回	分娩介助の実際① （古賀）	分娩介助の実際 解説・demonstration、グループごとに実施	予習90分：事前資料配布 DVDを観ておく 復習90分放課後に分娩介助練習
第14回	分娩介助の実際② （古賀）	分娩介助演習、グループごとに実施	予習90分：事前資料配布 DVDを観ておく 復習90分放課後に分娩介助練習
第15回	分娩介助の実際② （古賀）	分娩介助演習、グループごとに実施	予習90分：事前資料配布 DVDを観ておく 復習90分放課後に分娩介助練習
第16回	分娩と産痛緩和	呼吸法とリラクゼーション、補助動作、マッサー	予習90分：助産学講座7.P136-151を読む

	和（古賀）	ジ他	復習90分：配布資料を見直す
第17回	分娩期の診断と技術（古賀）	産婦のアセスメント/分娩4期観察とセルフケア指導	予習90分：助産学講座7.P163-166を読む 復習90分：配布資料を見直す
第18回	胎盤/出血量等のアセスメント（古賀）	胎盤の観察と計測/出血量の測定（講義と演習）	予習90分：助産学講座7.P118-121を読む 復習90分：配布資料を見直す
第19回	産道の損傷への対処とケア（古賀）	会陰切開と自然裂傷 分娩期の縫合技術（講義・演習）	予習90分：助産学講座7.P220-232を読む 復習90分：配布資料を見直す
第20回	フリースタイル分娩（古賀）	フリースタイル分娩（DVD）、フリースタイル分娩介助演習	予習90分：事前配布資料を読む 復習90分：配布資料を見直す
第21回	"産褥期の技術（木村）"	全身の回復と診断	"予習90分：助産学講座7 第12章P306-326、332-334 第13章336-344を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第22回	"産褥期の技術（木村）"	"乳房の観察と診断技術 授乳技術と乳房ケア"	"予習90分：助産学講座7 第15章P370-389を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第23回	"産褥期の技術（木村）"	子宮復古の観察と対処	"予習90分：助産学講座7 第12章P302-305を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第24回	"産褥期の技術（木村）"	バースレビューの意義と方法	"予習90分：助産学講座7 第12章P312を読む 復習90分：配布資料を見直す"
	"新生児の診断		"予習90分：助産学講座8

第25回	援助技術 (木村) "	出生直後からの新生児の観察技術・計測とケア	第1章P34-69を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第26回	"新生児の診断 援助技術 (木村) "	出生直後からの新生児の観察技術・計測とケア	"予習90分：助産学講座8 第1章P34-69を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第27回	"産褥期の援助 技術 (木村・黒澤・古賀) "	"子宮収縮測定、ラッチオン、ポジショニング、乳房マッサージ (演習) "	"予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する"
第28回	"産褥期の援助 技術 (木村・黒澤・古賀) "	"子宮収縮測定、ラッチオン、ポジショニング、乳房マッサージ (演習) "	"予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する"
第29回	"育児援助技術 (木村・黒澤・古賀) "	"新生児のバイタルサインの測定、身体計測、沐浴指導、哺乳介助 (演習) "	"予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する"
第30回	"育児援助技術 (木村・黒澤・古賀) "	"新生児のバイタルサインの測定、身体計測、沐浴指導、哺乳介助 (演習) "	"予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する"

教科書

医学書院 助産学講座6,7,8 助産診断・技術学Ⅱ（妊娠期、分娩期、産褥期）我部山キヨ子ら編、助産学講座3 基礎助産学3 母子の健康科学、メディカルビュー 分娩の仕組みと介助法 竹田省高橋真理編、プリンシプル産婦人科学 武谷雄二他、図解CTGテキスト 中井章人、助産学講座3 基礎助産学2 母子の基礎科学

参考書

助産師のためのフィジカルエグザミネーション、大石時子 医学書院 写真でわかる助産技術、平澤美恵子 インターメディカ 助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア、新生児期・乳幼児期のケア

成績評価の方法・基準

単位認定 60%以上
実技テスト（分娩介助）と筆記試験

課題等に対する フィードバックの方法

教科書や配布資料を熟読し予習復習をしっかりと行ってほしい。分娩介助に関してはグループごとに練習あるのみ

履修のポイント

予習・復習の積み重ねが知識を身につける力になり、試験対策にもつながります。授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、koga-yu@kiryu-u.ac.jp kimura-yu@kiryu-u.ac.jp kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80110001	
講義名	保健指導技術概論	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
区分	実践領域	
必修/選択	必修	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R213	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 木村 優子	指定なし

授業の概要と教育目標

助産活動に関連した保健指導、相談指導、学級活動の基本となるコミュニケーション、相談技法、教育技法等の概念、意義について学び、集団指導、個人指導の企画をするために必要な基礎的能力を養う。また保健指導における助産師に期待される姿勢を考える。保健指導の時期別各論で保健指導の展開につなげる。なお本科目は、助産師活動における個人指導、集団指導の概念を理解し、適切な方法での企画、コミュニケーション技法を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師として多様な価値観を受容し、対象の個性を尊重できる能力を習得するとともにEBM、NBMの視点をもって母子の健康レベルに応じた保健指導が出来る基礎技術の習得を目指すものとする。

到達目標

1. 保健指導の理論、目的、方法について理解する。
2. 個人指導において個性を考慮したインタビュー方法を学び、情報収集をすることができる。
3. 個人指導の特徴が理解でき、各論における妊娠中期～産褥1ヶ月までの指導計画に移行できる。
4. 集団指導の特徴が理解でき集団指導を企画展開する技法を修得できる。
5. 助産過程に基づく対象に合わせた保健指導の指導案、媒体など一連の保健指導過程を理解する。
6. 助産師、指導者として対象者に対する指導におけるコミュニケーション、礼節を踏まえた関わり方について考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題 (アクティブラーニング の内容を含む)	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	助産師による保健指導	目的・種類・対象・方法・留意点(教育・相談、指導)	"予習90分：助産学講座5 第2章P60-73 第4章P158-177を読む 復習90分：配布資料を見直す"

第2回	健康教育の準備	目標の設定・企画書について	"予習90分：助産学講座5 第2章P73-77 第3章P112-156を読む 復習90分：配布資料を見直す"
第3回	健康教育の準備	指導案の作成方法・指導媒体の作成について	"予習90分：助産学講座5 第2章P77-80 第4章P178-184を読む 復習92分：配布資料を見直す"
第4回	集団指導の展開	内容の検討 演習（クラスで話し合い） 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成 1. 栄養の大切さ・体重管理 2. 姿勢・腰痛・体操 3. 貧血～原因・合併症・産むための身体作り～ 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間 20分前後 発表後、まとめと振り返り ＊設定は地域の集団指導とする	予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べてグループワークに臨む 復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす
第5回	集団指導の展開	指導案作成 演習（グループワーク） 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成 1. 栄養の大切さ・体重管理 2. 姿勢・腰痛・体操 3. 貧血～原因・合併症・産むための身体作り～ 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間 20分前後 発表後、まとめと振り返り	予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べてグループワークに臨む 復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす

		り ＊設定は地域の集団指導とする	
第6回	集団指導の展開	指導案作成 演習（グループワーク） 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成 1．栄養の大切さ・体重管理 2．姿勢・腰痛・体操 3．貧血～原因・合併症・産むための身体作り～ 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間20分前後 発表後、まとめと振り返り ＊設定は地域の集団指導とする	予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べてグループワークに臨む 復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす
第7回	集団指導の展開	指導媒体作成 演習（グループワーク） 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成 1．栄養の大切さ・体重管理 2．姿勢・腰痛・体操 3．貧血～原因・合併症・産むための身体作り～ 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間20分前後 発表後、まとめと振り返り ＊設定は地域の集団指導とする	予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べてグループワークに臨む 復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす
		指導媒体作成 演習（グループワーク） 妊娠6～7か月の妊婦を対	

第8回	象にした集団指導を企画・運営 (誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当) 体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成 1. 栄養の大切さ・体重管理 2. 姿勢・腰痛・体操 3. 貧血～原因・合併症・産むための身体作り～ 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間20分前後 発表後、まとめと振り返り ＊設定は地域の集団指導とする	予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べてグループワークに臨む 復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす
教科書		
医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ 堀内成子編 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ (1) 妊娠期 我部山キヨ子ら編		
参考書		
医学書院 参加型マタニティクラスBOOK 戸田律子著 丸善プラネット マタニティサイクルの実践 保健指導 妊娠期 鈴木由美著		
成績評価の方法・基準		
単位認定60点以上 筆記試験 100%		
課題等に対する フィードバックの方法		
グループ活動による演習およびその成果発表を通して、学びの言語化を行う。		
履修のポイント		
助産学実習や地域実習を通して実際に理解していくことにつながる。卒業後の助産師活動の場で生かせる知識として身に付けていく必要がある。		
オフィス・アワー		
9～18時の在室時、kimura-yu@kiryu-u.ac.jp		

講義コード	80120001
講義名	保健指導技術
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	実践領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R214
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 木村 優子	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠～出産、育児および女性の性と生殖ははウェルネス診断が基本である。まずは正常に経過できているかどうかを診断し、異常に傾きそうな問題や課題があれば保健指導によって異常に傾くことを回避し、問題がない場合はよりよい状態または良い状態を維持するための保健指導を行う必要がある。個別指導においては助産診断に基づく保健指導の立案と実施方法を学び、集団指導では企画、運営、展開の演習を行う。なお本科目は、対象に応じた保健指導技術の方法を選択し、効果的に展開できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師として多様な価値観を受容し、対象の個別性を尊重できる能力を習得するとともにEBM, NBMの視点をもって母子と家族の健康レベルに応じた的確な保健指導が出来る技術の習得を目指すものとする。

到達目標

1. 保健指導の企画、展開の方法を学び、対象者に応じた指導が実施できる。
2. 思春期、更年期等の女性の健康講座などを企画する方法を学ぶ。
3. 妊娠期、産褥期・新生児期の保健指導案を立案することができる。
4. 妊娠期、産褥期・新生児期の保健指導案に基づいて展開することができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	初診時の問診	初診時における問診・初回インタビューの実際について（演習）	予習90分：助産学講座5第5章Bを読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	妊娠期における個別指導	妊娠期個別指導技術演習の進め方（課題提示）・ツーリズムオリエンテーション	予習90分：助産学講座5第5章C第6章Aを読む 復習90分：ツーリズム準備

第3回	妊婦の視点で物を見る	情報収集の方法とスーパーマーケットツーリズム・まとめ	予習90分：ツーリズム計画グループワーク 復習90分：ツーリズム発表資料作成グループワーク
第4回	妊婦の視点で物を見る	情報収集の方法とスーパーマーケットツーリズム・まとめ	予習90分：ツーリズム計画グループワーク 復習90分：ツーリズム発表資料作成グループワーク
第5回	妊婦の視点で物を見る	ツーリズムの視点をどのように指導に生かすか（討論）	予習90分：発表資料準備 復習90分：配布資料を読む
第6回	妊娠各期における個別指導	妊娠各期の保健指導案の作成（グループワーク演習）①妊娠初期（妊娠届・母子手帳の活用・妊婦健診・初期のマイナートラブルと対処、着帯	予習90分：助産診断学妊婦事例の指導計画作成 復習90分：指導場面のロールプレイ・媒体作成（GW）
第7回	妊娠各期における個別指導	妊娠各期の保健指導案の作成（グループワーク演習）②妊娠中期（中期のマイナートラブル・体重管理、貧血予防、早産予防、日常生活の動静、出産育児準備、母乳について、バースプラン）	予習90分：助産診断学妊婦事例の指導計画作成 復習90分：指導場面のロールプレイ・媒体作成（GW）
第8回	妊娠各期における個別指導	妊娠各期の保健指導案の作成（グループワーク演習）③妊娠後期（腹部増大に則した日常生活の工夫、バースプランの確認、分娩前兆、入院の時期と方法、異常の観察と対処、産痛緩和法・分娩経過中の過ごし方）	予習90分：助産診断学妊婦事例の指導計画作成 復習90分：指導場面のロールプレイ・媒体作成（GW）
第9回	妊娠各期における個別指導	妊娠各期の保健指導の実施（ロールプレイ発表）	予習90分：演習準備 復習90分：提出資料作成
第10回	妊娠各期における個別指導	妊娠各期の保健指導の実施（ロールプレイ発表）	予習90分：演習準備 復習90分：提出資料作成
第11回	妊娠各期における個別指導	妊娠各期の保健指導の実施（ロールプレイ発表）	予習90分：演習準備 復習90分：提出資料作成
第12回	妊娠期における集団指導の展開①	妊娠6～7ヶ月を対象とした集団指導デモンストレーション	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：デモストや教員からの指導内容を活かし、指導案の修正追加を行う。
第13回	妊娠期における集団指導の展開①	妊娠6～7ヶ月を対象とした集団指導デモンストレーション	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：デモストや教員からの指導内容を活かし、指導案の修正追加を行う。

第14回	妊娠期における集団指導の展開②	模擬集団指導の実施 振り返り評価とまとめ	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：発表し、クラスメイトや教員からの指導内容を活かし、助産学実習で活用できるよう各自で指導案の修正追加を行う。
第15回	妊娠期における集団指導の展開②	模擬集団指導の実施 振り返り評価とまとめ	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：発表し、クラスメイトや教員からの指導内容を活かし、助産学実習で活用できるよう各自で指導案の修正追加を行う。
第16回	産褥期における保健指導	育児指導の内容と方法/授乳指導（調乳指導含む）	予習90分：助産学講座7 第12章P327-331を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第17回	産褥期における保健指導	沐浴指導の内容と方法（退院後の沐浴について）	予習90分：助産学講座7 第12章P327-331を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第18回	産褥期における保健指導	退院指導の内容と方法	予習90分：助産学講座7 第12章P314-326、P332-334を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第19回	産褥期における保健指導	退院後の母乳管理・母乳育児相談	予習90分：助産学講座7 第13章P338 第15章P370-389を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第20回	産褥期における保健指導	1か月健診時の指導内容と方法	予習90分：助産学講座8 第3章P170-203を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第21回	保健指導案の展開	保健指導案・指導媒体の作成 助産診断学で展開した紙上事例をもとに産褥期に実施される保健指導案を作成する （グループワーク）	予習90分：集めた資料をもとに話し合いが出来るよう、各自内容を把握する。保健指導技術概論や助産診断技術学で学んだ内容を復習しておく 復習90分：グループの意見や教員の指導をもとに、各自の資料を追加修正する。次回のグループワーク時に意見が伝えられるよう資料の準備をする。各自で指導案の作成を進める。
			予習90分：集めた資料をもとに話し合いが出来るよう、各自内容を把握する。保健指導技術概

第22回	保健指導案の展開	保健指導案・指導媒体の作成 助産診断学で展開した紙上事例をもとに産褥期に実施される保健指導案を作成する (グループワーク)	論や助産診断技術学出学んだ内容を復習しておく 復習90分：グループの意見や教員の指導をもとに、各自の資料を追加修正する。次回のグループワーク時に意見が伝えられるよう資料の準備をする。各自で指導案の作成を進める。
第23回	保健指導案の展開	保健指導案・指導媒体の作成 助産診断学で展開した紙上事例をもとに産褥期に実施される保健指導案を作成する (グループワーク)	予習90分：集めた資料をもとに話し合いが出来るよう、各自内容を把握する。保健指導技術概論や助産診断技術学出学んだ内容を復習しておく 復習90分：グループの意見や教員の指導をもとに、各自の資料を追加修正する。次回のグループワーク時に意見が伝えられるよう資料の準備をする。各自で指導案の作成を進める。
第24回	保健指導案の展開	保健指導案・指導媒体の作成 助産診断学で展開した紙上事例をもとに産褥期に実施される保健指導案を作成する (グループワーク)	予習90分：集めた資料をもとに話し合いが出来るよう、各自内容を把握する。保健指導技術概論や助産診断技術学出学んだ内容を復習しておく 復習90分：グループの意見や教員の指導をもとに、各自の資料を追加修正する。次回のグループワーク時に意見が伝えられるよう資料の準備をする。各自で指導案の作成を進める。
第25回	産褥期における保健指導の実際 まとめ発表	ロールプレイ（産褥期の保健指導のまとめ発表）	予習90分：ロールプレイがスムーズにできるために各自読み込みや物品の準備。グループメンバーとの調整 復習92分：発表後のレポートのまとめ。各自で助産学実習用に指導案を作成する。
第26回	産褥期における保健指導の実際 まとめ発表	ロールプレイ（産褥期の保健指導のまとめ発表）	予習90分：ロールプレイがスムーズにできるために各自読み込みや物品の準備。グループメンバーとの調整 復習92分：発表後のレポートのまとめ。各自で助産学実習用に指導案を作成する。
第27回	ライフサイクルにおける保健指導～思春期～	思春期における保健指導、ピアカウンセリング、集団指導 講義・GW	予習90分:助産学講座5P186-216を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第28回	ライフサイクルにおける保	思春期における保健指導、ピアカウンセリング、集団指導 講義・GW	予習90分:助産学講座5P186-216を読む。

	健指導 ～思春 期～		復習90分:配布資料を見直す
第29回	ライフ サイクル にお ける保 健指導 ～更 年期～	成熟期・更年期における保健指導カウ ンセリング(講義・GW) 更年期のケア (演習)	予習90分:助産学講座5P245- 261を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第30回	ライフ サイクル にお ける保 健指導 ～更 年期～	成熟期・更年期における保健指導カウ ンセリング(講義・GW) 更年期のケア (演習)	予習90分:助産学講座5P245- 261を読む。 復習90分:配布資料を見直す

教科書

医学書院 助産学講座5, 助産診断・技術学Ⅰ、医学書院 助産学講座6,7,8 助産診断・技術学Ⅱ (妊娠期、分娩期、産褥期) 我部山キヨ子ら編、母子手帳

参考書

参加型マタニティクラスBOOK 戸田律子 医学書院

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
グループワーク参加状況・積極性・協調性・基礎知識の習得状況(発表内容),発表後レポートなどによる総合評価による。
妊娠期:40% 産褥期:40% 思春期・更年期:20%

課題等に対する フィードバックの方法

グループ活動による演習およびその成果発表を通して、学びの言語化を行う。

履修のポイント

助産学実習や地域実習を通して実際に理解していくことにつながる。卒業後の助産師活動の場で生かせる知識として身に付けていく必要がある。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、kimura-yu@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80130001
講義名	地域母子保健
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	実践領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R215
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 笠原 佳代	指定なし

授業の概要と教育目標

地域における助産師の母子保健活動を展開するために、国、都道府県、市町村における母子保健動向を理解し、地域母子保健活動（目的、事業計画の立案、実施方法等）、地域組織活動育成支援等についてロールプレイやグループワーク（KJ法）を通して、地域での活動における基礎的技術を学ぶ。なお本科目は、助産師として地域の母子保健を推進するための基礎的知識を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、地域社会の発展に寄与できる能力の習得および、チーム医療に参画できる能力の習得を目指す。

到達目標

1. 地域で助産師が展開する母子保健活動の意義を理解する。
2. 母子保健施策、法律、制度等を理解し、地域の特性やニーズを把握するための視点を理解する。
3. 母子を取り巻く環境やニーズの把握、個別支援、関係機関との連携と支援方法を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	地域母子保健活動の目的	1) 地域母子保健について 2) 地域の母子を取り巻く環境と現状、ヘルスプロモーション	予習90分：地域母子保健・国際母子保健2章、我が国の母子保健Ⅰ・Ⅱを読む。復習90分：配布資料を見直す
第2回	地域における母子保健活動のしくみ	1) 母子保健施策、制度、法律 2) 母子保健活動における個別支援方法、ロールプレイ	予習各90分：地域母子保健・国際母子保健3章ABC 我が国の母子保Ⅲを読む。復習各90分：配布資料を見直す
第3回	地域における母子保健活動の展開	1) 地域の特性と関連業務 2) 地域のアセスメントとニーズの	予習各90分：地域母子保健・国際母子保健4章5章を読む。復習

	I	把握	各90分：配布資料を見直す
第4回	地域における母子保健活動の展開Ⅱ	1) 地域母子保健と関係機関との連携方法 2) 母子の教室運営方法（療育支援含）、グループワーク	予習各90分：地域母子保健・国際母子保健4章5章を読む。復習各90分：配布資料を見直す
第5回	地域における母子保健活動の実際Ⅰ	1) 保健所における母子関連業務 2) 市町村における母子（障がい児を含む）関連業務と実際 3) あなたの町の母子保健活動（レポート課題）グループワーク	グループワーク課題との取り組み
第6回	助産師における地域母子保健活動の実際Ⅰ	1) 地域構成によりみた産褥期母子ケアにかかわる潜在助産師調査と活動計画の策定と実際、ロールプレイ・グループワーク	グループワーク課題との取り組み
第7回	地域における助産師活動グループ支援	1) 地域組織活動の育成支援 2) 子育て支援システムの構築（障がい児支援を含む）	グループワーク課題との取り組み
第8回	これからの地域における助産師活動	1) 地域組織活動の育成支援 2) 子育て支援システムの構築（障がい児支援を含む）	グループワーク課題との取り組み

教科書

医学書院 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健、母子保健事業団 母子衛生研究会 我が国の母子保健

参考書

母子衛生研究会 母子保健の主なる統計、

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業内課題による。

課題等に対するフィードバックの方法

ロールプレイ（演習）、グループワーク（KJ法）の演習の中で助言してゆく。

履修のポイント

メンバーとともに、発想を豊かにディスカッションしながら実践力をみがいてゆきましょう。

オフィス・アワー

授業の中でご相談ください。一緒に考えます。

講義コード	80140001
講義名	助産管理
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	実践領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R216
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒澤 やよい	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	櫛田 恵津子	指定なし
教員	塩田 利江	指定なし

授業の概要と教育目標

基本的な助産業務・管理及び病産院・助産所の運営の基本的理解と助産業務の評価を行い、調整できるための基礎を学ぶ。その上で具体的手法としての管理のプロセスと助産を取り巻く状況について学ぶ。なお、本科目は助産活動の多様性に対応し、活動の場における管理実践を行うための方法を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師としての倫理観を深め、多様な価値観を受容し、対象の個性を尊重できる実践能力を習得すること、および、生涯にわたり、自己研鑽・自己啓発に務める重要性を育むことを目指すものである。

到達目標

1. 助産業務、管理の基本について、その特徴、法的責任、職業倫理を含めて説明できる。
2. 助産管理プロセスについて理解できる。
3. 産科病棟・外来、助産所の管理運営とその特徴が説明できる。
4. 現代社会が助産師に期待する様々な問題を含む役割期待を認識し、現状と将来に向けた対応を考えることができる
5. 助産師の就業継続や将来像について考えることができる。
6. 災害時、助産師としての役割と対応について考え、実践に役立てられる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	助産管理の基本	管理の基本概念とプロセス、助産管理の概念、助産と医療経済	予習90分：助産管理1章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	活動場所の特性と	診療所、助産所、院内助産所、周産母子医療	予習90分：助産学概論の医療法、医療法施行規

	業務	センター・病院、	則(抄)を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	病産院における助産業務管理①	助産業務管理の過程（助産管理と助産業務管理、業務の査定、目標管理の実践プロセス、業務計画の策定/評価/目標設定）	予習各90分：助産管理4章ABを読む 復習各90分：配布資料を見直す
第4回	病産院における助産業務管理②	助産業務管理の方法と実践（組織管理、書類管理、財務管理、業務の質の評価について）	予習各90分：助産管理4章ABを読む 復習各90分：配布資料を見直す
第5回	病産院における助産業務管理③	産科棟における助産管理（人員配置、看護体制、労働条件、就業規則、勤務計画、アメニティについて、クリティカルパスについて）	予習90分：助産管理4章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	病産院における助産業務管理④	外来の助産管理（産科外来、助産外来、母乳外来、専門外来）	予習90分：助産管理4章Eを読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	院内助産所における業務管理の実践①	院内助産とは、管理者の役割、人事管理、助産所の管理運営の実践について（経営、サービスの向上、リスクマネジメント、医療との連携等、これからの課題）	予習90分：助産学概論4章Dを読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	院内助産所における業務管理の実践②	院内助産とは、管理者の役割、人事管理、助産所の管理運営の実践について（経営、サービスの向上、リスクマネジメント、医療との連携等、これからの課題）	予習90分：助産学概論4章Dを読む 復習90分：配布資料を見直す
第9回	周産期助産管理システム①	NICUにおける管理システム、周産期搬送システム、オープンシステム	予習90分：助産学概論3章A、B 1を読む 復習90分：配布資料を見直す
第10回	周産期助産管理システム②	周産期の医療事故とリスクマネジメント（周産期医療事故、助産業務におけるリスクマネジメント）	予習90分：助産学概論3章A、B 1を読む 復習90分：配布資料を見直す
第11回	災害と助産師	1. 災害とは 2. 災害時における看護 3. 災害時母子ケアの実践 4. 被災地の心的反応に対するケア	予習90分：助産学概論3章B2、地域母子保健・国際母子保健5章Iを読む 復習90分：配布資料を見直す
第12回	助産師主導分娩システムについて	助産所開設における助産師の自律性と医療連携（妊娠管理、分娩管理、産褥管理）、	予習90分：助産学概論5章 助産業務ガイドライン2014を読む 復習90分：配布資料を見直す
第13回	助産管理システムの構築	助産業務ガイドラインに基づく院内助産開設に向けてのプロセス（法律、届け出、理念・方針、組織、業務体制、安全・災害対策、経費）	予習90分：助産学概論5章 助産業務ガイドライン2014を読む 復習90分：配布資料を見直す
第14回	助産管理システム	助産所開設に向けてのプロセス（法律、届け出、理念・方針、組織、業務体制、安全・災	予習90分：助産学概論5章 助産業務ガイドラ

	の構築	害対策、経費) <アクティブラーニング> 助産院開設に向けてのグループワーク・発表	イン2014を読む 復 習90分: 課題検討
第15回	助産管理 システムの 構築	助産所開設に向けてのプロセス(法律、届け 出、理念・方針、組織、業務体制、安全・災 害対策、経費) <アクティブラーニング> 助産院開設に向けてのグループワーク・発表	予習90分: 助産学概 論5章 助産業務ガイドラ イン2014を読む 復 習90分: 課題検討
教科書			
医学書院 助産学講座10 助産管理 我部山キヨ子ら編、医学書院 助産学講座1 助産学概論 我部山 キヨ子ら編、日本助産師会 助産業務ガイドライン2014、医学書院 助産学講座9 地域母子保健・ 国際母子保健、我部山キヨ子ら編			
参考書			
助産師業務要覧Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ編,第3版福井トシ子、日本看護協会日本助産師会 助産所開設マニュアル			
成績評価の方法・基準			
単位認定60点以上 筆記試験(80%)、レポート(20%)による。			
課題等に対する フィードバックの方法			
授業内でのレポート課題、グループ活動による演習およびその成果発表を通して、学びの言語化 を行ってゆく。			
履修のポイント			
助産学実習や助産所実習における助産管理の実際を理解していくことにつながってゆきます。助 産師の活動の場で生かせる知識として身に付けてゆきましょう。			
オフィス・アワー			
平日の16:30-18時 kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp			

講義コード	80150001
講義名	助産学実習
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	11
代表曜日	
代表時限	
区分	実践領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R217
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒澤 やよい	指定なし
教員	木村 優子	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

＊産科棟実習においては正常経過が予測される妊産褥婦及び新生児を受けもち、一連の助産過程を通して援助を展開し、評価、考察を行い次のケアへとつなげる。分娩期においては10例の分娩介助を行い、それぞれの分娩、産褥、新生児などの助産過程が展開できることを目標とする。また、そのうち1例は妊娠中期以降、可能な限り長期に受け持ち、産婦に合わせて分娩期に寄り添い、分娩介助後は退院迄及び1ヶ月健診までの母児のケアと健康診査を行い、個別保健指導を中心とする助産過程を展開する。＊リーダーまたは師長の業務観察を通して日常の助産管理の実際を学び。カンファレンス後、レポートにまとめる。＊NICUに入院している児の特徴とケアの方法を学ぶ。＊地域の妊婦とその家族に向けての集団指導の実施を行うとともに乳児を持つ家族の個別指導を見学し、妊婦、乳児、家族への切れ目のない支援の方法を学ぶ。なお、この科目は、学内で学んだ知識と技術を臨床で実践し、助産師としての実践能力を養うとともに専門職業人としての態度を身に付けることを目標とする。また、家族計画実施指導員講習の必修科目「実習」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery)、NBM(Narrative Based Midwifery)の視点から、母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導技術の習得と多様な対象の個別性の理解を深め、自己の助産観の基盤を培うことを目指すものである。

到達目標

1. 対象者の発達課題や問題を把握し、助産計画を立案できる。
2. 妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族を統合的に理解し、援助できる。
3. 正常分娩を安全に介助できる。
4. 助産管理に関して理解を深める。
5. 地域における保健医療チームと助産師の連携、役割と責務を理解した上で活動に参加し、実践できる。
6. NICUにおける児の生理的特徴やケアの実践、助産師の役割を理解することができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	分娩介助実習	10例の分娩介助(分娩1期から4期)を助産診断のもと、実施する。1例毎の分娩介助技術を担当者と振り返り次回に役立てる。全例、記述記録をまとめ1例毎に教員から指導を行うので課題を明確にし、次回に生かす。
第2回	継続受持実習	1例の妊婦の承諾を得て妊娠期から産後1か月を受け持ち、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の保健指導、並びに分娩・産褥・育児・新生児ケアを指導者や教員とともに実施する。その都度の実践時に指導を行うが、助産過程を経過毎に記述記録をまとめ教員に提出する。後日、コメントや修正点を伝える。
第3回	間接介助実習	分娩介助者の介助と新生児のケアを行う。直接介助者と協力し安全に、速やかに進行できるようコミュニケーションを密にとり実施する。
第4回	管理実習	実習病棟師長またはリーダーの1日の言動を観察し、カンファレンスで考察し、管理業務の実際を学ぶ。時間が空いたところで、指導者と振り返り、質疑応答を行う。
第5回	地域実習	保健センターで開催している妊娠期の集団指導を、教員、指導者の指導のもと、グループで教案・パンフレットを作り実施する。地域乳幼児相談を見学する。見学記録課題提出し指導者のコメントを入れ返却する。
第6回	NICU実習	NICU病棟で2日間の実習を行う。オリエンテーション時、児の生理的特徴や環境の調整、ケアの実践における注意事項を学び、実践を通してケア方法を学ぶとともに家族への看護について考察する。カンファレンスでの発言を通して学びを発表する。実習記録課題を教員に提出しコメント後返却する。
第7回	見学実習	帝王切開術新生児ケア見学、集団指導見学、乳児健診見学後のレポートを教員（保健センター指導者）に提出しコメント後返却する。

教科書

資料：桐生大学別科助産専攻 助産学実習要項、桐生大学別科助産専攻 助産診断類型と診断指標

参考書

実習図書：改訂第2版 よくわかる母乳育児 水野 克己他 株式会社へるす出版、これでナットク母乳育児水野 克己他 株式会社へるす出版、みる・きく・わかる！ 新生児の症状・所見マスターブック 大野 勉 メディカ出版、助産師基礎教育テキスト4巻 妊娠期の診断とケア 森 恵美 日本看護協会出版会、助産師基礎教育テキスト5巻 分娩期の診断とケア 町浦美智子 日本看護協会出版会、助産師基礎教育テキスト6巻 産褥期のケア、新生児期・乳幼児期のケア 横尾京子 日本看護協会出版会、助産師基礎教育テキスト7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児のケア 遠藤俊子 日本看護協会出版会、今日の助産 北川眞理子他 南江堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：分娩記録(助産過程30%・技術20%) 継続事例30% NICU実習記録・地域実習記録・管理実習20%

課題等に対するフィードバックの方法

分娩評価表は翌日実習指導者に提出、分娩介助記録は3日以内に教員に提出し、それぞれコメント、アドバイスを得て速やかに次の分娩介助に生かしてゆくこと。

履修のポイント

積極的に対象との関わりを持つことで沢山の学びが生まれます。メンバーシップも重要な課題となります。

オフィス・アワー

kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp kimura-yu@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80160001
講義名	助産研究
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	総合領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R310
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 木村 優子	指定なし
教員	石井 広二	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

助産学に貢献できる研究（正常領域の妊産褥婦、母性看護、助産学、ウィメンズヘルス等）について考える。なお本科目は、助産の視点から研究の意義を理解し、研究の一連の過程を体得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産学に貢献できる課題を見出し、倫理的に配慮しながら文献レビュー/クリティークを通して論文の作成、発表、抄録の作成ができることを目指す。

到達目標

1. 助産学に関連した研究の目的、意義がわかる。
2. 助産学における研究のテーマが設定できる。
3. テーマに沿った文献の検索ができる。
4. 検索した文献をクリティークできる。
5. 研究の手続きが理解できる。
6. 十分な倫理的対処がわかる。
7. 方法に合ったデータ収集ができる。
8. 適切な分析方法を用いて結果を抽出できる。
9. 一連の過程を経て論文を作成できる。
10. 効果的な口頭発表の方法を理解し実践できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
		理論と実践、対象の	

第1回	助産学を支える理論と研究	理解を深める理論、助産研究の意義 研究テーマの検討、研究の方法	予習90分：教科書P 2-72を読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	研究と倫理	研究者としての倫理的配慮について	予習90分：教科書P 27-35、P 53-54、P 64、P 98、P 119、P 146を読む。復習90分：配布資料を見直す
第3回	文献検索	文献の検索方法と収集	予習90分：教科書P 102-125を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	質的研究とは	質的研究の方法、特徴について	予習90分：教科書の質的研究に関する部分を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	質的研究のプロセス演習	事例を用いて質的研究のラベルワーク (GW)演習	予習90分：前回の講義で配布された資料をよく読み、ラベルワークやネームを自分で考えグループワークに臨む。復習90分：配布資料を見直す 発表されている論文とグループワークの結果を照らし合わせる
第6回	量的研究とは	量的研究の方法、特徴について	予習90分:教科書の量的研究を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第7回	量的文献クリティーク	事例を用いてのクリティーク演習	予習90分:配布資料を見直す。 復習90分:配布資料を見直す
第8回	データ処理について(1)	量的研究の単純集計集計について（主にExcel）	予習90分：教科書の8章量的データ分析法について読む。 復習90分：パソコン操作
第9回	データ処理について(2)	量的研究の検定について（主にExcel）	予習90分：教科書の8章量的データ分析法について読む。 復習90分：パソコン操作
第10回	文献研究	文献研究の進め方、研究計画書の作成	予習90分：教科書の12章事例研究、13章研究計画書作成について読む。 復習90分：計画書作成
第11回	研究の実際	文献研究のまとめかたとプレゼンテーション	予習90分：教科書の14章研究論文のまとめ方について読む。 復習90分：配布資料を見直す
第12回	ケーススタディ	ケーススタディについて／ケーススタディのまとめ方	予習90分：教科書のケーススタディ例を読む 復習90分：配布資料を見直す
第13回	研究のまとめ	①ケーススタディ②文献研究発表会（発表時間1人10分/質疑応答10分）	予習・復習各90分：発表練習。他学生の論文をよく読み感想や疑問点をあげる。
第14回	研究のまとめ	①ケーススタディ②文献研究発表会（発表時間1人10分/質疑応答10分）	予習・復習各90分：発表練習。他学生の論文をよく読み感想や疑問点をあげる。
第15回	研究の	①ケーススタディ②文献研究発表会（発表時	予習・復習各90分：発表練習。他学生の論文をよ

まとめ	間1人10分/質疑応答10分)	く読み感想や疑問点をあげる。
教科書		
医学書院 黒田裕子の看護研究 Step by Step(4版)、その他配布資料に基づく 助産師業務要覧Ⅰ基礎編 第3版 福井トシ子 日本看護協会		
参考書		
照林社 わかりやすいケーススタディの進め方、松本孚/森田夏実編 日本看護協会出版会、よくわかる看護研究論文のクリティーク、山川みやえ他		
成績評価の方法・基準		
単位認定60点以上 助産学実習後に行うケーススタディと文献研究のまとめ・発表 各自で課題をまとめる際の積極性、内容、発表会時の協力度などにより評価 ケーススタディ：50% 文献研究：50%		
課題等に対する フィードバックの方法		
課題をクリアするためには時間外の学習時間が必須。時間調整をし、文献検索、分析などを行うこと。 文献研究は担当教員と連絡を取り合いアドバイスの下、各自の研究を進める。		
履修のポイント		
助産学に貢献できるテーマの設定、目的、方法、倫理的対応、研究計画書、計画書に基づいた実施、ケーススタディのまとめ方の習得		
オフィス・アワー		
9～18時の在室時、Kimura-yu@kiryu-u.ac.jp kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp koga-y@kiryu-u.ac.jp		

講義コード	80170001
講義名	不妊とケア
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	総合領域
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R311
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒澤 やよい	指定なし
教員	荒木 康久	指定なし
教員	岡崎 友香	指定なし

授業の概要と教育目標

晩婚化・少子化などの社会的事情により不妊治療への関心が高まる中で、不妊に悩むカップルの現況と生殖補助技術(不妊治療の体外受精等)を用いた不妊治療の概要を理解し、個々の対応に求められる助産師の役割を学ぶ。なお本科目は、対象の多様性を理解し、社会性をとらえた広い視野からの知識と技術を持つことを目標とする。家族計画実施指導員講習の必修科目「考査」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、女性のセクシュアリティに関する発達課題やライフサイクルに沿った健康問題に対応できる知識を習得することを持つことを目指す。

到達目標

1. 不妊カップルを取り巻く社会的状況を知る。 2. 不妊治療にかかわる技術の実際を学び、臨床におけるサポートに必要な知識を習得できる。 3. 女性のライフサイクル（特に不妊）に沿った看護ができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題 (アクティブラーニング の内容を含む)	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	不妊治療をめぐる諸事情 ① (黒澤)	不妊症とは、不妊症の頻度と原因、不妊治療の方法	予習90分：母子の基礎科学1章D、我が国の母子保健参考資料14を読む。復習90分：配布資料を見直す
第2回	不妊治療をめぐる諸事情 ② (黒澤)	不妊治療に伴う身体的影響、経済的背景	予習90分：母子の心理・社会学1章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	不妊と生命倫理 (黒澤)	子どもを生む選択・子どもを育てる選択	予習90分：特別養子縁組制度についてインターネット検索し、内容を読む 復

			習90分：配布資料を見直す
第4回	不妊症の検査と治療（荒木）	不妊治療の現状と不妊予防のための知識整理	予習各90分：母子の基礎科学9章A、4章を読む 復習各90分：配布資料を見直す
第5回	不妊症の治療（荒木）	生殖補助医療の実際	予習各90分：母子の基礎科学9章A、4章を読む 復習各90分：配布資料を見直す
第6回	不妊症患者の背景（岡崎）	不妊患者の心理・社会的背景について 不妊カウンセラーの役割	予習90分：母子の心理・社会学1章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	不妊症の看護（1）（岡崎）	受診前、初回受診時、検査時、治療時、治療終了時の看護	予習90分：母子の心理・社会学1章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	不妊症の看護（2）（岡崎）	不妊治療後の妊産褥婦の看護	予習90分：母子の心理・社会学1章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座2 基礎助産学 母子の基礎科学 医学書院、我部山キヨ子ら編、我が国の母子保健（母子保健事業団）、助産学講座4 基礎助産学〔4〕 母子の心理・社会学 医学書院

参考書

不妊治療ガイドンス 医学書院、生殖補助医療技術学テキスト 医歯薬出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、筆記試験

課題等に対する フィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行ってゆくので考えを発表してほしい。

履修のポイント

不妊治療後の妊娠で分娩を迎える方も多く、新聞・テレビなどのメディアに取り上げられることも多いので関心をもって視聴してほしい。

オフィス・アワー

9～18時の在室時 kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	80180001
講義名	国際助産師論
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	総合領域
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R312
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大久保 麻矢	指定なし
教員	吉留 桂	指定なし

授業の概要と教育目標

途上国の母子保健に関する問題と解決のための国際協力について学ぶ。なお本科目は、途上国がかかえる母子保健に関する問題とその原因を理解し、解決を目指す国際協力と助産師が果たす役割を考えることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、専門職業人として社会的、国際的な視野を持ち、助産学の継続的な発展の基盤となる知識・技術を学習することを目指す。

到達目標

1. 世界の健康問題を理解する
2. 途上国の小児保健の現状を知る
3. 途上国のリプロダクティブヘルス/ライツを妨げる要因を理解する
4. 母子保健向上のための国際協力と助産師の活動について知る
5. 途上国の母子保健を含むリプロダクティブヘルスの現状を知る
6. 途上国の母子保健を含むリプロダクティブヘルスの活動を理解する
7. 母子保健向上のための国際協力と助産師の役割について知る

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	異文化 母子保健に関する統計	異なる文化を知る。統計から世界中の母子の現状を理解する。	予習90分：地域母子保健・国際母子保健6章A 1、我が国の母子保健 I・IIを読む。復習90分：配布資料を見直す
第2回	世界の保健医療問題 持続可能な開発目標（SDGs）	持続可能な開発目標（SDGs）に掲げられた乳幼児死亡率の減少、妊産婦の健康改善の達成を必要とする途上国の現状を学ぶ。	予習90分：地域母子保健・国際母子保健6章A3を読む。復習90分：配布資料を見直す

第3回	女性が直面している問題について	世界中の女性が置かれている現状・問題を理解する。リプロダクティブヘルス／ライツについて学び、途上国でどのようにこれを保障するか考える。	予習90分：地域母子保健・国際母子保健6章A3を読む。復習90分：配布資料を見直す
第4回	途上国での母子支援者について	多くの途上国で活躍している伝統的産婆（TBA）について知り 助産師との違いについて考える。	予習90分：TBAについて調べる。復習90分：配布資料を見直す
第5回	在日外国人母子保健	在日外国人女性やその家族の健康問題、必要な支援について事例を通し考える。	予習90分：地域母子保健・国際母子保健6章Cを読む。復習90分：配布資料を見直す
第6回	これからの助産師に求められる能力について	世界の女性や母子が置かれている現状を再確認する。助産師としての役割を考える。	予習90分：これまでの資料を読む。復習90分：配布資料を見直す
第7回	国際保健医療協力の概要	母子保健を含むリプロダクティブ・ヘルスの課題を解決するために行われている国際協力の概要を知る。	予習90分:JAICについて調べる。復習90分:配布資料を読む
第8回	国際助産協力の実際	世界の人々に健康をもたらすための方策として提案されたプライマリ・ヘルスケアについて学び、地域保健活動の在り方を考える。	予習90分:JAICについて調べる。復習90分:配布資料を読む

教科書

講師資料、医学書院 助産学講座9 地域母子保健、国際母子保健、我部山キヨ子ら編, 家族計画国際協力財団(ジョイセフ) 芦野由利子・北村邦夫監修 新版IPPFセクシャル/リプロダクティブ・ヘルス用語集

参考書

国際看護学入門（国際看護研究会編、医学書院）Where there is no doctor(David Werner,Hesperian Foundatin)、世界人口白書

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 レポート課題100%評価

課題等に対するフィードバックの方法

講義中、質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行いますので皆さん積極的に意見を述べて下さい。

履修のポイント

母子保健は途上国の健康問題の主要な部分を占めており、助産師の視点から問題を考える機会として下さい。

オフィス・アワー

講義時間内、または、前後・休憩時間などに相談してください。

講義コード	80190001	
講義名	母子保健政策論	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
区分	総合領域	
必修/選択	選択	
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UB-R313	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 黒澤 やよい	指定なし

授業の概要と教育目標

助産師が専門職業人として法律や行政の施策の中でどのように位置づけられているか、母子保健施策の変遷、施策の転換等で助産師がどのような歴史を歩んできたのか、現在の急激な少子高齢化の進展の中で助産師としてどのようなことが求められるのかを知り、将来の助産師活動をどのように発展させていくかを考える。なお本科目は、社会的視野を持ち、助産学の継続的な発展のための動向を把握することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、地域社会の発展に寄与できる能力、および、生涯にわたり、自己研鑽・自己啓発に務め、チーム医療に参画できる能力を習得することを目指す。

到達目標

1. 今日の母子保健課題を説明できる。
2. 母子保健に関する主な法的規制について理解する。
3. 母子保健施策の推移と保健活動について理解する。
4. 現在の母子保健や家族福祉等に関連する問題点や課題の解決策を考察できる。
5. 今後の母子保健政策における助産師の課題を考察できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	母子保健が抱える現状と課題	資料統計の分析から見た現状の把握：人口統計、母体保護統計、医療環境、育児環境	予習90分：地域母子保健・国際母子保健2章、我が国の母子保健Ⅰ・Ⅱを読む。復習90分：配布資料を見直す
	我が		予習各90分：地域母

第2回	国の母子保健制度と根拠法	母子保健行政の概要、母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法	子保健・国際母子保健3章ABC 我が国の母子保Ⅲ、Ⅳを読む。復習各90分：配布資料を見直す
第3回	わが国の主な母子保健制度	グループワークガイダンス：母子保健対策の体系、市町村の主な母子保健福祉業務、健康診査、保健指導、療養援護、医療対策 予防接種、不妊相談と助成、ひとり親家庭の支援、職域の母子保健、女性保護事業/健康日本21と健やか親子21 子育て支援＜アクティブラーニング＞ グループワーク	予習各90分：地域母子保健・国際母子保健3章ABC 我が国の母子保Ⅲ、Ⅳを読む。復習各90分：配布資料を見直す
第4回	母子保健制度の学習と発表準備①	グループワーク：必要資料検索、発表資料作成、①統計からの社会情勢と制度の目的・意義討議と資料作成 ②母子・女性支援制度の説明発表資料作成 ③助産師資格に必要な母子保健知識：問題と解説作成＜アクティブラーニング＞ グループワーク	予習各90分復習各90分：グループ課題学習
第5回	母子保健制度の学習と発表準備②	グループワーク：必要資料検索、発表資料作成、①統計からの社会情勢と制度の目的・意義討議と資料作成 ②母子・女性支援制度の説明発表資料作成 ③助産師資格に必要な母子保健知識：問題と解説作成＜アクティブラーニング＞ グループワーク	予習各90分復習各90分：グループ課題学習
第6回	母子保健制度の学習と発表準備③	グループワーク：必要資料検索、発表資料作成、①統計からの社会情勢と制度の目的・意義討議と資料作成 ②母子・女性支援制度の説明発表資料作成 ③助産師資格に必要な母子保健知識：問題と解説作成＜アクティブラーニング＞ グループワーク	予習各90分復習各90分：グループ課題学習
第7回	母子保健制度の学習と発表準備④	グループワーク：必要資料検索、発表資料作成、①統計からの社会情勢と制度の目的・意義討議と資料作成 ②母子・女性支援制度の説明発表資料作成 ③助産師資格に必要な母子保健知識：問題と解説作成＜アクティブラーニング＞ グループワーク	予習各90分復習各90分：グループ課題学習
第8回	母子保健制度の発表	発表と質疑応答、＜アクティブラーニング＞ グループワーク発表 ディスカッション：1G～6G：15分	予習90分：発表課題の作成 復習90分：発表後の追加修正

教科書

医学書院 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健、我部山キヨ子ら編 わが国の母子保健（母子保健事業団）

参考書

課題関連使用を検索する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 課題作成と発表状況による(100%)
課題等に対する フィードバックの方法
まとめたディスカッション内容や説明資料を整理しは発表することで学習内容の共有化を図ることを目指す。助産師資格に求められる知識を国家試験レベルで活用できるよう助言してゆく。
履修のポイント
課題についてグループで討議し発表することで、知識を深めてゆきます。予習復習時間もグループ活動となります。
オフィス・アワー
9～18時の在室時 kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp